

町と北海道電気保安協会と 災害時の協力協定を締結

9月5日洞爺湖町は、北海道電気保安協会（大内全理事長）と災害時協力協定の手交式が行われ、真屋町長と大内理事長が協定書を取り交わしました。

地震などの自然災害が発生し、避難所や公共施設が停電した場合、同協会が復旧に向けた応急対策を行います。

この協定によって、町は同協会に公共施設の電力復旧に向けた点検、補修や復旧工事に伴う監督、検査などを要請できることになります。

真屋町長は「町民の安全安心の確保のために大変心強い」と挨拶しました。



協定書を交わした真屋町長と大内全理事長

9月6日、洞爺湖ロータリークラブ（秋田昌昭会長）は、洞爺湖温泉のホテルで



交通安全旗を贈る秋田会長(右)

開かれた例会の中で、伊達地区交通安全協会洞爺湖温泉支部（成田幸一支部長）に、ロータリー交通安全の黄色い旗100枚を贈りました。成田支部長は「交通安全のために役立てたい」とお礼の言葉を述べ、同旗を受取りました。

9月8、9日に開かれた第25回北海道ソーデーマーチでも、近隣のロータリークラブと合同で、オニオンスープやベーコンポテトなどを振る舞い、参加したウォーカーたちに好評でした。

洞爺湖ロータリークラブが社会奉仕 交通安全協会に安全旗100枚寄贈



グループでまちの清掃を行う児童生徒

洞爺地区の湖畔やまちの中を清掃しました。

参加したのは、とうや小学校、洞爺中学校、洞爺高校の児童、生徒138名。

高校生と小、中学生がいっしょの班を編成し、各班ごとに分担された地区のゴミ、空き缶、ペットボトルなど40リットルの袋6つほどの量を集めました。

洞爺地区の小中高校生地域を清掃 クリーン洞爺実施

日・韓・中国国際芸術画展 町民の部受賞式

第18回「日・韓・中国国際芸術画展」in洞爺湖（NPO国際芸術文化協会主催）の町民の部の表彰式が、9月15日洞爺湖温泉のホテルで行われました。

洞爺湖町長賞には、朝日あさ子さん（かっこう台区）、瓜田夕起子さん（虻田8区）、大畑萌絵さん（洞爺中1年）、村上唯花さん（洞爺中1年）、田村まりあさん（虻田小6年）、上茶良真さん（温泉小5年）の6人が受賞しました。

そのほかの賞には、町民の部は7人。洞爺中学校からは9人。虻田小学校からは5人。温泉小学校からは1人が受賞しました。



受賞した町民の皆さん

住んで
いる
地域を、
自分たち
できれいに
する
「クリーン
洞爺」
が、今年
も9月14
日行われ、

まちのわだい

